

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	食育推進事業				事業番号	038-087	
担当部署名	教育委員会事務局	局	学校管理部	部	学校給食課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(2)子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進
			有	取組の方向性	③健やかな心身の育成		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.2
			有	取組	睡眠教育・食育の推進		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	第3期未来をつくる教育プラン		
3	事業開始年度	平成 22 年度	点検対象年度（個別計画）	令和 12 年度
4	実施根拠	学校給食法、食育基本法		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	堺市立幼・小・中・支援学校の幼児児童生徒 58,103人（R7.5.1時点）および保護者	対象数	単位
			58,103	人
7	事業の目的	堺市立幼・小・中・支援学校の幼児児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、学校・家庭・地域が連携した食育の推進を図る。		
8	事業内容	小・中学校への食通信の配付や食育フェアを開催し、学校給食の役割や食育の大切さについて児童生徒や保護者・市民に普及啓発する。また、教職員や保護者を対象に食育媒体（動画）を作成し、広く食育の推進を図る。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	－		
9	主な支出先	－		
10	公民連携・協働事業	－		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	朝食を毎日食べる児童の割合（小6）	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	81.0	82.3		
			達成率	81%	82%		
当該指標を選定した理由		第3期未来をつくる堺教育プランの指標として同指標を設定しているため。					
目標値の設定根拠・算出方法		「全国学力・学習状況調査」本市結果					

12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	食通信の発行（年間11回）	回	目標値	11	11	11	
			実績値	11	11		
			達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		毎月定期的に食に関する内容を小学生の全保護者と全生徒に配付している。またホームページに掲載し、食育の重要性を啓発しているため。					
目標値の設定根拠・算出方法		学校給食献立表の配付と合わせて月 1 回（夏休み期間中である8月は9月との合併号）の配付とする。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	食育推進事業	事業番号	038-087
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	221	118	347	179	261
	財 源					
	国支出金	0	0	155	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	221	118	192	179	261
14	人件費（b）	3,240	4,050	4,200	4,200	4,350
15	年間経費（c）=(a)+(b)	3,461	4,168	4,547	4,379	4,611

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	普通旅費	R7	決算	101	101		R7	決算		
		R8	予算	180	180		R8	予算		
	消耗品費	R7	決算	30	30		R7	決算		
		R8	予算	30	30		R8	予算		
	講師謝礼金	R7	決算	22	22		R7	決算		
		R8	予算	23	23		R8	予算		
	印刷製本費	R7	決算	23	23		R7	決算		
		R8	予算	23	23		R8	予算		
	研修会等参加負担金	R7	決算	3	3		R7	決算		
		R8	予算	5	5		R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

		区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	①	堺市立幼・小・中・支援学校の幼児児童生徒数（毎年度5月1日現在）	人	59,634	58,103
	②	上記①にかかる年間経費	千円	4,168	4,379
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	70	75
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	朝食の摂取状況（割合）は、令和4年度と比較しても横ばい傾向にあるといえる。食通信、食育フェア等を活用したより効果的な情報発信を図ってきた。こどもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくための基礎となる「食」にかかる資質・能力を育む学校での食育の推進を図り、引き続き学校・家庭・地域が連携して朝食の摂取状況（割合）が100%となるなど児童生徒の食環境の改善に努める必要がある。 単位当たり経費は増額となったが、万博学校給食の実施、食育フェア開催や、小学校の全保護者・児童を対象とした食通信の発行を実施し、食育について広く情報発信できた。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	堺市基本計画2025において、「子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進（重点戦略3施策(2)）」をあげているが、食育は、生きる上で基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるべきものとして食育基本法において位置づけられている。児童生徒が食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることを目的とした、学校における食育を推進することは、当該指標における目標達成のための基礎を固めることに寄与するものである。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	郷土を愛する心や、多様な価値観・文化を尊重する豊かな心、未来へ希望を持ち、生涯にわたり心身の健康を守り続け、しなやかによりよく生きることができる力等を、こども自らが獲得することができるように、今後も費用対効果を勘案し、食育を実施していく必要がある。
	有効性	■ 高い □ 低い	